



▶ 令和6年12月 一般質問

▶ 令和7年2月 予算特別委員会

# いさやま大介



## プロフィール

教員の両親から生まれる。  
神戸大学発達科学部を卒業。  
中学から大学までは水泳部のキャプテン。(現在、神戸市水泳協会副会長)  
灘区の松蔭中学と神戸海星高等学校で18年間教員を勤める(理科と化学)。  
地元少年野球部の元コーチ、地域こども水泳教室の現コーチ。

2015年、19年、23年神戸市会選挙連続当選、現在3期目。  
教育こども委員会所属(2025年3月現在)  
議会活動のかたわら、駅頭活動と週末の地域周りを現在も欠かさず継続中  
教員経験を活かし教員の多忙化対策等、教育全般の環境改善に全力活動中。



発行元

こうべ未来市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 1号館27階  
TEL: 078-322-5844 FAX: 078-322-6161

# Vol.38



### 令和7年度各会計予算について

令和7年度各会計予算及び関連議案合計47件を、要望14件を付して認定、承認しました。  
(要望事項の一例)・医療的ケア児を在宅で介護している家族の負担を和らげるため、  
医療型短期入所の受け入れ体制の強化に努められたい。  
・老朽化に伴う下水道管を含む道路付帯設備の調査を継続しながら、適切な維持管理に向けて  
取り組まれたい。

### 『エコノバ(資源回収ステーション)』の取り組みが広がっています！

- ・『エコノバ』とはプラスチックの「まわり続けるリサイクル」を実践し、「世代を超えて新たな交流が生まれる拠点」を目指しています。
- ・灘区では、せいとく、つるかぶと、にしごう、ひえだ、なぎさ、にしなだ、たかは、おうじ、とが、の9か所の地域福祉(地域交流)センター等で開設されています。(2025年3月現在)
- ・使い捨てカイロのリサイクル実証実験も始まっています。ぜひご利用ください。



### ダブルケア(育児と介護の両立)への支援は？！

一般質問

一般質問  
のポイント

- ☑ 2016年の内閣府の調査によると、育児と介護を同時に担うダブルケアを行っている人は全国で約25万人と推定される。
- ☑ 育児と介護のケアを同時に担う市民に対する支援についてどうなっているか。
- ☑ 他都市の例にならない、相談体制を含めた総合的な支援を進めるべきでは。

副市長：相談窓口として、介護は、「あんしんすこやかセンター」が中心となり、育児は、各区のこども家庭支援室、さらには地域の身近な相談場所としての児童館、おやこふらっとひろば、保育所などがある。

そちらで、介護者、保護者、家族の状況も把握するように努めてきている。

その家庭の福祉課題が複雑で困難な状況になっている場合は、関係機関が情報共有し、チームとして家族全体の状況も踏まえた支援方針の検討・策定を行うなど、介護・育児の両面から、世帯全体にとって適切なサービスが提供されるように連携対応している。



いさやま：堺市では全区役所に育児と介護の両方を行う人へのダブルケア相談窓口を設置している。京都府では地域包括支援センターと子育て世代包括支援センターの連携により、育児と介護問題に関して適切なサービスを紹介できる体制を構築するとともに、子育てに配慮したケアプラン作成を行っている。神戸市でもより総合的な支援を進めるべきである。

★ 毎月末 市政報告会を開催しています。  
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

討議資料

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通2-2-8 まどかビル2階東  
TEL: 070-1930-2368 FAX: 078-271-3707 mail: info@isayama-daisuke.jp